鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検実施候補箇所図
（第一小学校・第一幼稚園　※第一中学校一部含む　その１）

③交通量が多い道であるが、道幅は狭く、
歩道やガードレールもない。

（対策内容）

※道幅が狭く、ガードレールの設置は難しい。

具体的な危険を示して、一列で安全を確認しながら通行するように指導　☆学校

②見通しが悪く、危険。

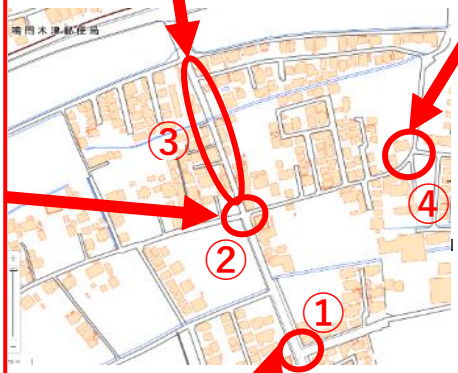
（対策内容）

※カーブミラーは設置済み。

具体的な危険を示しながら、飛び出さず安全を確認して通行するように継続して指導

危険箇所及び安全確認の具体的な方法（カーブミラーの活用）などを保護者に周知

☆幼稚園・小学校



④登校時には、交通量が多い。
坂になっており、車のスピードが出がちである。
道幅も狭く、カーブは見通しがきかない。

（対策内容）

※カーブミラーは設置済み。

細い道を通らずに学校裏口へと抜けるルートを周知し、通学路の検討を呼びかける　☆小学校

スピード超過、見通しの悪さなど、具体的な危険を示し、安全を確認しながら一列通行するように継続して指導　☆中学校

①横断歩道手前の「止まれ」表示が消えかかっている。
見通しが悪い上、学校から出る車が速度を落とさないこともあり、危険。
横断歩道の西側に段差があり、危険である。
大雨時には、水がたまりやすい。

（対策内容）

※歩道の安全確認用のカーブミラー設置済み。

※歩道と車道の段差は、安全を確保するためのものであり、解消はできない。

止まれマークの設置　☆市教育委員会

送迎時の危険について周知し、入り口付近での一旦停止の徹底を保護者に依頼　☆幼稚園・小学校

学校へ出入りする車との衝突のリスクを軽減するため、道路の西側を通行するように指導　☆中学校

関係各所に対して、大雨時の排水について素早い対応を依頼

路面の凹凸の補修　☆市土木課

鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検実施候補箇所図
（第一小学校・第一幼稚園　※第一中学校一部含む　その２）

⑤脇道から出る際の見通しが悪く、歩道も狭いため、接触の危険がある。
緩やかなカーブになっているので、点滅信号の見落としがあったり、街路樹によって、信号が隠れたりすることがある。

（対策内容）

街路樹の枝の剪定を定期的に実施

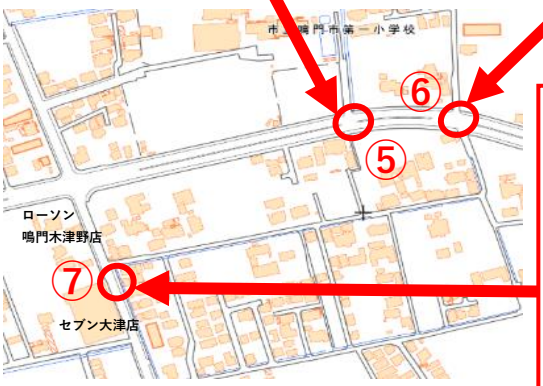
☆県土整備局

⑥北側から県道に出る際は、大変見通しが悪い。
横断歩道が非常に短い。
信号に従って車を発進させても、自転車や歩行者が赤信号で進入してくる。それにより、事故も起こっている。

（対策内容）

横断歩道の距離が短く、信号機も離れたところに設置されているため、「信号のある横断歩道」と認識しにくい可能性がある。

信号機があることを再度確認し、信号を守って通行するように指導を徹底する　**☆小学校・中学校**



⑦店舗側の歩道には、ガードレールがない。
店舗駐車場の入り口と横断歩道が重なっており、危険である。

（対策内容）

※横断歩道の位置は、周辺の建物の位置関係から、移動することは難しい。
※ガードレールがある歩道が反対側にあり、道幅も十分にある。

※少し北上した位置に、信号のある横断歩道が整備されている。

近くに信号機付きの横断歩道があるので、安全な信号のある横断歩道を利用するように指導　**☆小学校・中学校**

⑧信号がないので、スピードが出やすい。

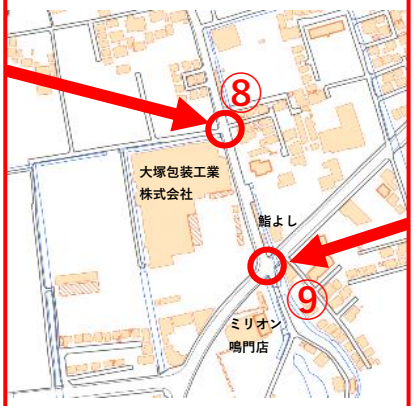
（対策内容）

※見通しがよく、近くに信号付きの横断歩道も設置されている。

手を挙げて、車からの視認性を高めるように指導

スピードが出ている場合、距離の目測が通常の場合と異なることを指導

☆小学校



⑨右折車が多く、横断する児童や自転車との接触の危険がある。

（対策内容）

信号の変わり目で、無理な進入が起こりやすいので、信号が点滅していたら、横断せずに待つことを指導

☆小学校・中学校

鳴門市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検実施候補箇所図
（第一小学校・第一幼稚園　※第一中学校一部含む　その３）

⑩林崎・里浦方面への向け道となっているため、交通量が多い。
朝は、車が減速せずに進入することが多い。

（対策内容）

※徳長方面にはスクールバスが出ている。

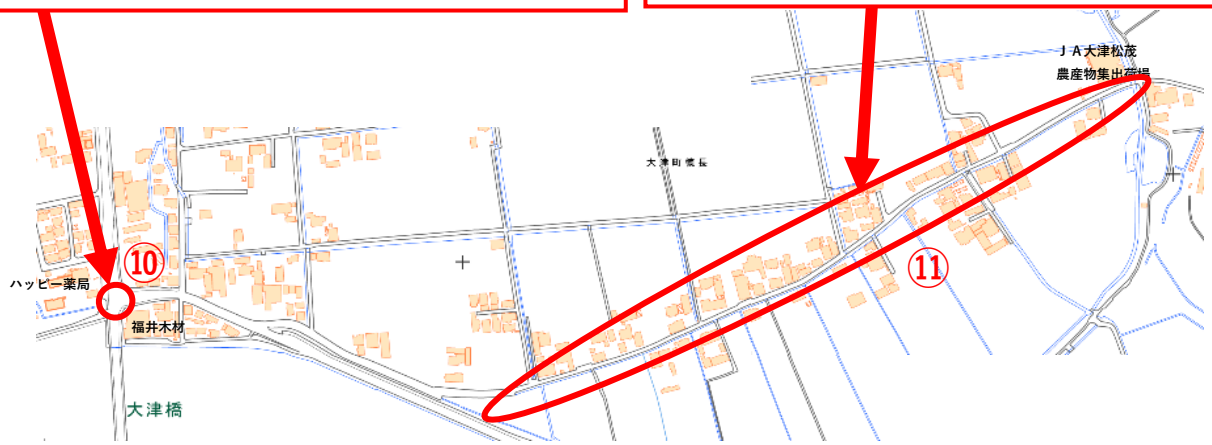
特に、朝の通学時間帯は、スクールバスを積極的に利用するように呼びかける

☆小学校

⑪道幅が非常に狭く、見通しも悪い。
法定速度を超過して走行する車も多く、徒歩は危険である。
イベント時の抜け道としての使用も多く、子どもの安全が確保されているとは言いがたい。

（対策内容）

※道幅が極端に狭く、ハード面での対策は困難な状況である。

徒歩での通行には適さないので、通学方法や通学経路を検討して、より安全な道を通るように呼びかける

☆小学校